



ニュースレター

Vol. 38 – No. 2
3月– 4月 2026

デジタルコンサルタント

Rick Sinclair
Curtis Jeung

最新ソフトバージョン

Central Station 3	- 2.6 (13)
Central Station 2	- 4.3.2 (4)
Mobile Station	- 5.6
Wireless MS	- 5.4.0.21

毎年恒例のロッキーマウンテン鉄道ショーが間もなく開催されます。今年も参加する予定です。今年は、このショーへの参加10周年となります！

CS3の新しいアップデートがリリースされました。アップデートのインストール中に、一部のユーザーで不具合が発生しています。メーカーはこれらの不具合を認識しており、修正に取り組んでいますので、しばらくお待ちください。念のため申し上げますが、アップデートをインストールする前に、**常に**セントラルステーションのバックアップを取っておくことをお勧めします。そうすることで、データ喪失を防ぐことができます。また、レイアウト図を変更する前にもバックアップを取ることをお勧めします。

最初の記事では、m83デコーダーを使用してアンカプラー(連結器開放)レールを制御する方法について解説し、2番目の記事では、CS3/CS3+でソフトウェアのアップデート/ダウングレードを行う方法について解説します(まさにタイムリーですね！)。

m83によるアンカプラーレール制御

正直に言うと、これまでこの件についてあまり深く調べていませんでした。私は、m84がアンカプラーに使われるものだと思っていました。m83とm84は似ていますが、推奨されているm83デコーダー(60832)を使う方法を試してみようと思いました。

まず最初に、メルクリンのウェブサイトにもm83用の「テクニカルマニュアル」が掲載されていることをお伝えしておきます。このマニュアルには、デコーダーに付属のマニュアル(どちらかというと「インストール」マニュアル)よりも、m83の様々な応用に関する詳細な情報が記載されています。以下にリンクを示します。

<https://static.maerklin.de/damcontent/3b/44/3b44f7c3c18c5d0a2b0c3e377f3df7281570606458.pdf>

「テクニカルマニュアル」には、アンカプラーの使用方法についても少し説明があります。以下に、その手順に関する私の解釈を示します。

まず、m83をレール出力に接続し、画面上部の“edit(編集)”ボタンから“Discover mfx items(mfx機器検出)”を選択します(図1)。

次に、アンカプラー(24997)をm83に接続します。黄色の線を中央に、青色の線を赤色または緑色のポート(どちらでも構いません)に接続してください。私はポート番号2の赤色を選択してテストしました。短時間オンした後、正常に動作してオフになりました。



図1 - “Edit(編集)” ボタン。

テクニカルマニュアルによると、出力のモードを“Sensor Switching(センサースイッチング)”、period(周期)を“15”に設定するように指示されています。m83の設定画面でこの設定を行うことができました。手順は以下のとおりです。

もう一度「編集」ボタンを選択し、“Edit Article List(機器リスト編集)”を選択します(図1)。編集画面でm83を選択します。この時点で出力ポートの名前を変更できるので、“UC”と名付け、アイコンをアンカプラに変更しました(図2)。

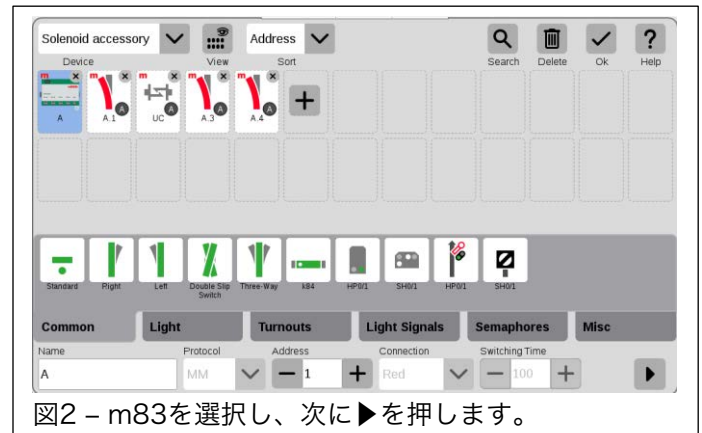


図2 - m83を選択し、次に▶を押します。

編集画面でm83を選択すると、その設定画面に入ることができます。m83アイコンをタップすると、背景が水色になります(図2)。次に、画面右下の▶をタップします。すると“Set Up(設定)”タブが表示され、そこから“Configuration(CV設定)”タブを選択すると、CS3が設定を読み込みます。

次に、CV設定タブの右上にあるメニューアイコンを選択し、“Output(出力)”を選択します(図3)。アンカプラー(出力2)が“Sensor Switching(センサースイッチング)”なっていることを確認し、“Period(周期)”を15に変更します(図4)。

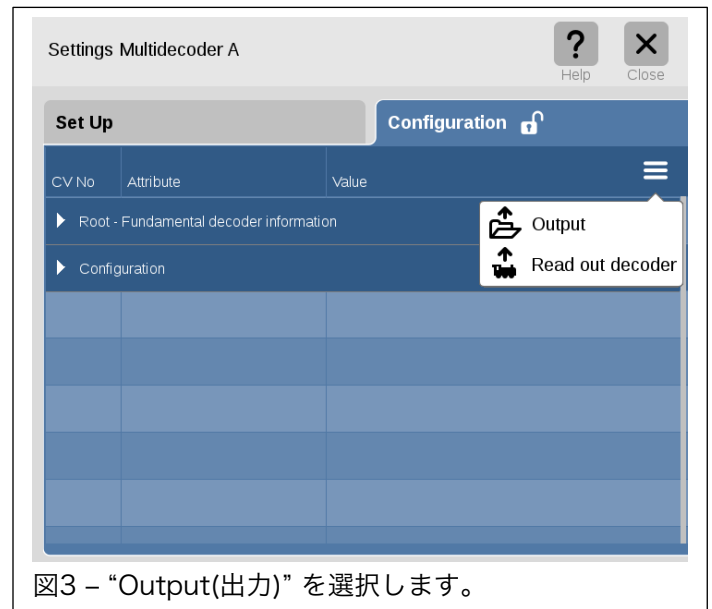


図3 - “Output(出力)” を選択します。

周期を変更すると、ポイント制御用のデフォルト値よりも長くアンカプラが作動状態を維持します。より長い時間を設定できますが、ソレノイドの過熱に注意してください！この設定でアンカプラは正常に動作し、自動アンカプラとしてイベントスクリプトに追加することも可能です。

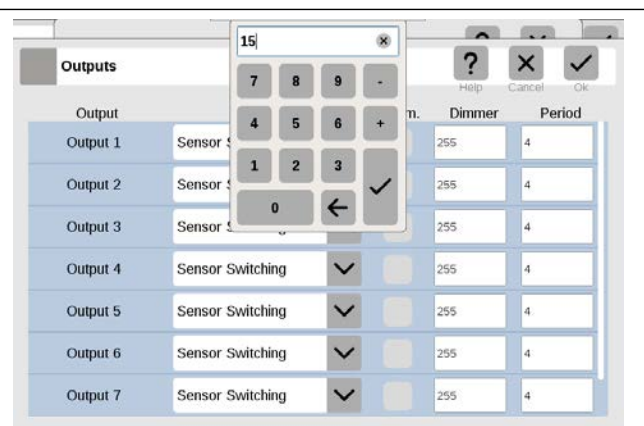


図4 - アンカプラー出力をSensor Switching(センサースイッチング)とPeriod(周期)15に設定。

m83のモード変更 (訳注：以下は良好な動作を確認できないので参考として読んでください。)

m83には8つのポートがあると考えていました。デフォルトモードでは、m83はポートごとに2つのアンカプラーを使用できますが、問題は、各ポートの赤または緑の出力を個別に制御できないことです。m83は赤と緑を切り替えます。つまり、アンカプラーのアイコンをタッチするたびに、2つのアンカプラーが交互にアクティブになります。

解決策としては、m83を8出力用に設定することです。そのためには、m83を別モードにする必要があります。これを行うには、CV設定タブに戻って別のモードを選択する必要があります(図5)。問題は、“8 switch, 8 address”モードに変更しても、機器リスト上で、すぐに8個に変更が反映されないため、8個にするには、m83を削除して再登録する必要があります。モードを変更し、m83を削除して再登録したところ、次のことがわかりました。

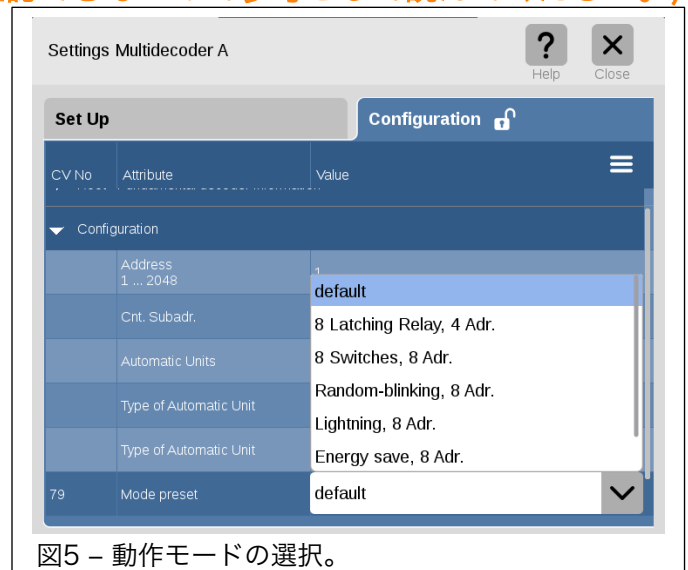


図5 - 動作モードの選択。

テクニカルマニュアルには各モードの説明が記載されています。

モード0 - 標準モード - CS3では“Default”と表示されます。

モード1 - スイッチ8個、アドレス4個 - CS3では“8 PulseSW, 4 address”と表示されます。

モード2 - スイッチ8個、アドレス8個 - CS3では“8 switches, 8 address”と表示されます。

モード3 - 点滅とランダム点灯、アドレス8個 - CS3では“flash and random, 8 addresses”と表示されます。

モード4 - ネオン街路灯 - CS3では“Light, 8 addresses”と表示されます。

モード5 - 省エネ照明、アドレス8個 - CS3では“save-energy light (m83), 8 address”と表示されます。

CS3には“Mode 6”というモードもありますが、調べた限りでは上記の“Default”と同じです。

出力が8つあるモードはいくつかあります。アンカプラーに適さないモードや、より多くの設定が必要となるモードもいくつかあり、それらのモードに時間を費やすのは無駄です。これらはモード3、4、5、6です。残るのはモード0、1、2です。

モード0(デフォルト)については既に説明しました。モード1(8つのスイッチ、4つのアドレス)も機能しますが、ボタンを押すたびに緑点灯⇒赤点灯⇒緑消灯⇒赤消灯と順次動作すること以外はデフォルトと同じです。明らかにこれはデフォルトのボタン操作よりも悪いです。したがって、モード1は除外します！

モード2(8スイッチ、8アドレス)は正常に動作し、残された唯一の選択肢です。各出力を個別に制御できます。1つのボタンでワンタッチオン、ワンタッチオフが可能です。欠点は普通のアンカプラーアイコンではアンカプラーが作動しないことです。幸いなことに、“Misc.(その他)” アイコンタブに“Coupling G1(連結SP1)” アイコンがあります(図5)。2つ目の欠点は、オフにするにはボタンをもう一度押す必要があることです。アンカプラーをオフさせるタイミングには決定的な値がないため、これはそれほど大きな問題ではないかもしれませんが、やはり長時間オンにしておくとしレノイドが焼損します！

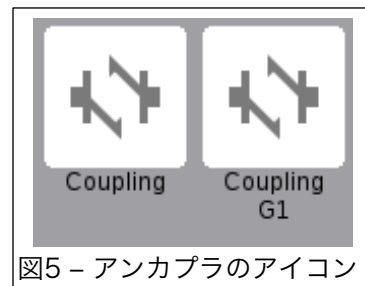


図5 - アンカプラーのアイコン

他のモードが機能しない理由は、ボタンを押した時のエフェクトにあります。点滅するライト、徐々に明るくなるライトなど様々なエフェクトは、アンカプラー起動にどれも適しません。

シンプルな解決策

私のシンプルな解決策は、手動です。アンカプラーには72720コントロールボックスが最適です。ボタン1つで(最大8つの)アンカプラーを瞬間的に操作できます。シンプルで、はるかに安価で、配線もほとんど不要です。操作するために画面上のページを選択する必要もなく、子供の頃のようにレイアウトの隅で操作できます！唯一の欠点は、イベントに組み込むことができないことです。アンカプラーは私のレイアウトで最も使用頻度の低いアクセサリです。m83による制御の仕組みが分かりましたが、アナログ制御でこのアクセサリを楽しもうと思います！

Enjoy your hobbies!

Rick Sinclair

CS3/CS3+ソフトウェアのアップデート/ダウングレード

CS3/3+ のソフトウェアをアップデートする手順に関するご要望があり、今回の記事で解説します。一般的に、ソフトウェアは常に最新の状態に保つことが賢明です。しかし、ソフトウェアを以前のバージョンに戻したいというご要望もありました。今回は、その手順についても説明します。

警告ですが、ソフトウェアを過去のバージョンに戻すかどうかを決定する際には注意が必要です。私からどうすべきかは言えません。レイアウトやプログラムの詳細は、作成者しかわからないからです。また、ダウングレードが、必ずしも解決策にならないかもしれません。



図1 : このCS3の現在のソフトウェア

まず最初に、現在のシステムのバックアップを作成・保存しておいてください。これは、手順中に予期せぬ障害が発生した場合の唯一の安全策です。バックアップには必ず固有の識別名を付けてください。つまり、CS3によって自動的に付けられるバックアップファイル名をそのまま使用しないでください。デフォルト名は変更されないため、単一のファイルを繰り返し上書きすることになります。その結果、正常に動作していた最後のバージョンに、不具合のある設定を上書きしてしまう可能性があります。

図1に、私の出発点を示します。

これはソフトウェアバージョン2.5.2(6)です。各ステップで使用したソフトウェアのバージョンを示します。また、公開されているバージョン2.6.0のソフトウェアでもいくつかのテストを実行しました。

更新と通知

アップデートには、2つの方法があります。インターネット接続を利用したオンライン法と、USBメモリデバイスを使用したオフライン法です。

理想的には、CS3をインターネットに接続しておくことをお勧めします。CS3に利用可能なアップデートを監視させるには、インターネット接続が不可欠だからです。これがソフトウェアをアップデートする最もスムーズな方法となるでしょう。ただし、CS3と無線LAN接続することだけを目的としたルーターは、必ずしもインターネット接続されているとは限らないので注意が必要です。

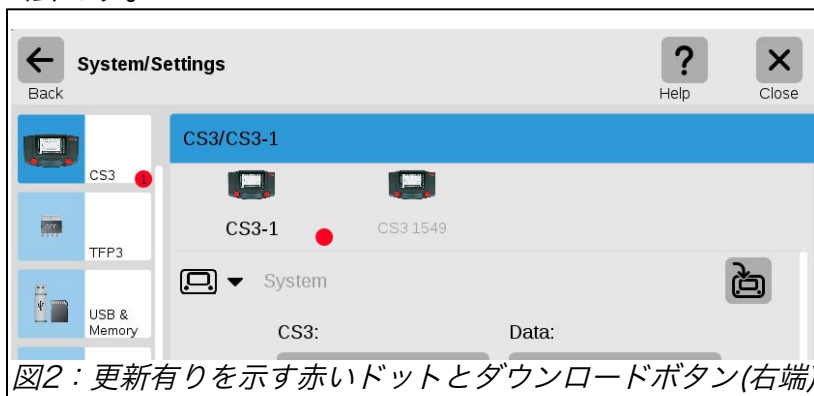


図2：更新有りを示す赤いドットとダウンロードボタン(右端)

CS3アイコンの横にある赤いドットは、アップデートが利用可能であることを示しています。赤いドットはすべてのCS3アイコンに表示され、システム設定を開くとアップデートボタンが表示されることを知らせます。アップデートがない場合は、アップデートボタンは非表示になっています。図2にアップデートボタンの外観を示しています。一番右にある下向き矢印のアイコンがアップデートボタンです。

CS3がネットワークに接続されていない場合は、ソフトウェアのバージョンを自分で調べてアップデートの有無を確認する必要があります。

<https://www.maerklin.de/en/service/downloads/cs3-updates>

図3に上記リンクからダウンロードできるアップデートファイルを示しています。ページには、CS3ソフトウェアの最新バージョンが表示されます。この例では、2.5.2(6)です。ただし、バージョン2.6.0と2.4.1のダウンロードリンクも表示されているのは紛らわしいです。

これら他のバージョンに関する詳細は不明ですが、以下の点にご注意ください。ソフトウェアを以前のバージョン(例：2.4.1)に戻すことは可能ですが、現在のソフトウェアバージョンで慣れ親しんだ機能が正常に動作しなくなる可能性があるため、ご注意ください。

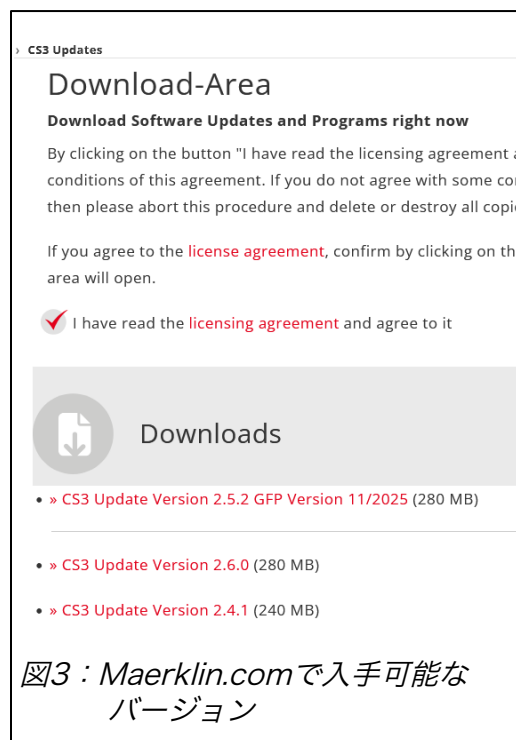


図3：Maerklin.comで入手可能なバージョン

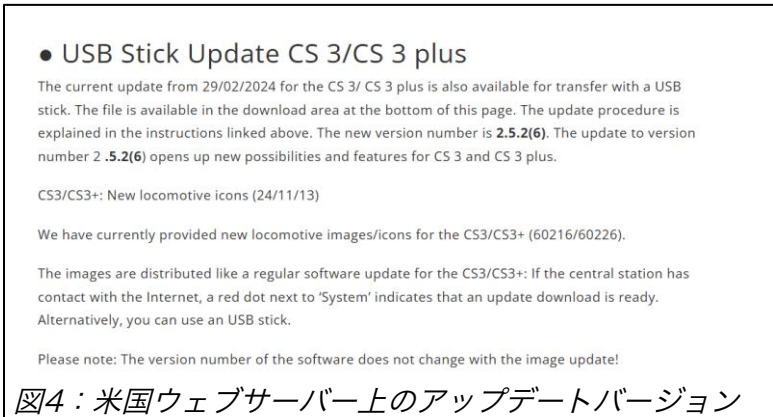
「現在のソフトウェア」の表示は、ウェブホストによって異なる場合があることに注意してください。ドイツのウェブサーバーでは最新バージョンが2.6.0と表示されますが、米国のサーバーでは2.5.2と表示されます（図4参照）。

これらのバージョンのいずれかをクリックすると、すぐにダウンロードを開始します。しかし、「ページが見つかりません」という警告が表示されたので、5回もダウンロードしてしまいましたが、ダウンロードは問題ありませんでした。ダウンロードフォルダを確認すべきでした。

USBメモリの使用

ファイルをコンピュータにダウンロードしたら、コンピュータからUSBメモリにファイルをコピーします。このファイルをUSBメモリのフォルダ内に配置しないでください。

アクセスするには、USBメモリの最上位ディレクトリにファイルが存在する必要があります。CS3は大容量USBメモリとの互換性が良くありません。32GB以上のUSBメモリは認識されません。私はCS3専用1.0~8.0GBのUSBメモリを常備しています。



● USB Stick Update CS 3/CS 3 plus

The current update from 29/02/2024 for the CS 3/ CS 3 plus is also available for transfer with a USB stick. The file is available in the download area at the bottom of this page. The update procedure is explained in the instructions linked above. The new version number is 2.5.2(6). The update to version number 2.5.2(6) opens up new possibilities and features for CS 3 and CS 3 plus.

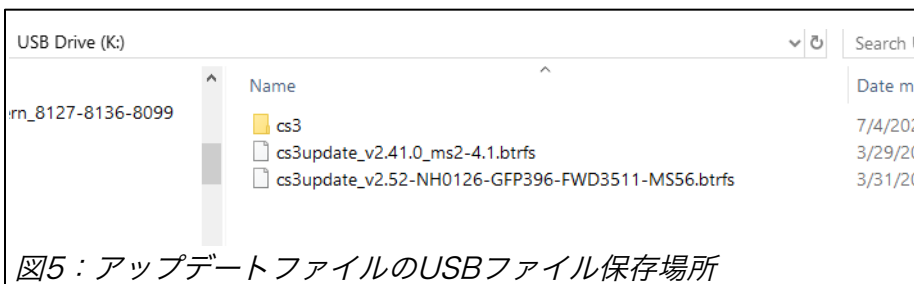
CS3/CS3+: New locomotive icons (24/11/13)

We have currently provided new locomotive images/icons for the CS3/CS3+ (60216/60226).

The images are distributed like a regular software update for the CS3/CS3+: If the central station has contact with the Internet, a red dot next to 'System' indicates that an update download is ready. Alternatively, you can use a USB stick.

Please note: The version number of the software does not change with the image update!

図4：米国ウェブサーバー上のアップデートバージョン



USB Drive (K:) Search

Name	Date modified
cs3	7/4/2024
cs3update_v2.41.0_ms2-4.1.btrfs	3/29/2024
cs3update_v2.52-NH0126-GFP396-FWD3511-MS56.btrfs	3/31/2024

図5：アップデートファイルのUSBファイル保存場所

図5では、USBメモリへのダウンロードファイルの保存場所を示しています。図には2つのアップデートファイルが表示されていますが、CS3は1つしか認識しません。次の手順で説明するように、アップデートのためにバージョン2.4.1を削除し、バージョン2.6.0のソフトウェアを残しました。

USBメモリをシステムソフトウェアに使用する利点は、システムソフトウェアのアップデートとダウングレードの両方に使用できることです。USBドライブにインストールされているソフトウェアのバージョンがCS3にインストールされているバージョンと異なる場合、CS3は赤いドットとダウンロードボタンを有効にします。図6は、ソフトウェアバージョンが2.5.2のCS3に古いバージョンの2.4.1(0)をインストールした結果です。

さらにテストを行ったところ、オンライン法では、2.6.0にアップデート済みのCS3を以前のバージョンに戻すことができませんでした。CS3はアップデートファイルが利用可能であることを認識していましたが、ファイルはロードされず、ソフトウェアは2.6.0のままでした。前述のとおり、USBメモリー内のアップデートファイルを2.5.2のみにし、再度以前のバージョンに戻すテストを行いました。今度は、ソフトウェアは2.6.0を2.5.2に置き換えることができました。



Device and software information

Central Station 3 60216

Hardware Version HW:03.03
Software Version 2.4.1 (0) ©
Serial Number 349

(GPL) GNU/Linux 4.5.0 armv7l
(GPL) U-Boot 2015.01

図6：バージョンを遡ることは可能です

Curtis Jeung

今後の予定：

- **Rocky Mountain Train Show**
Denver, Colorado
April 11-12
- **ONLINE Webinar**
Wednesday, April 8

デジタル、技術、および製品関連について、リックとカーティスに質問するには：

Phone: 650-569-1318

Hours: 8:00 am – 4:00 pm CT Monday through Thursday

8:00 am – 12:00 noon CT Friday

E-mail: digital@marklin.com

Märklin Digital Club · 1406 Creek Trail Drive · Jefferson City, MO 65109

©2026 Rick Sinclair, Curtis Jeung@Märklin, Inc.

Translated by H.Inoue@The Maerklin Chuff-Chuff Club of Nagoya.